

MV-22 オスプレイの配備及び飛行訓練に関する 重点提言

垂直離着陸輸送機MV-22 オスプレイについては、安全性に対する国民の不安が払拭されたとは言えない状況のなか、先般、地元住民、自治体に十分な説明がないまま沖縄県の普天間基地に配備され、今後は、日本全土に及ぶ国内6ルートでの飛行訓練を行うことが計画されている。

オスプレイについては、本年4月にモロッコで、また6月には米国フロリダ州で墜落事故が発生し、その安全性について大きな懸念が抱かれている。

このようなことから、国においては、国民、住民のこうした声を真摯に受け止め、オスプレイの安全性や事故原因、周辺住民への影響等について、関係自治体に対して詳細に説明を行うとともに、その配備・飛行訓練等については、関係自治体の意向を十分尊重すべきである。

また、沖縄県民は過重な基地負担を強いられており、これ以上沖縄県に負担を押し付けることがないよう強く求める。